

EC

# 取扱説明書

時分割比例式電気伝導率指示調節計

FDI - 70E



本社 東京都三鷹市新川5 - 9 - 9

TEL . 0422(48)9391

FAX . 0422(49)9790

このたびは時分割比例式工業用指示調節計をお買い上げ戴きまして、誠に有難うございます。

この説明書は電気伝導率計の正しい取り扱い方、調節方法などを説明しておりますので

よくお読み下さいますようお願い申し上げます。

十分な品質管理を致しておりますが、万が一輸送中の事故その他不具合がございましたら

誠にお手数ながら、お買い上げの店にお申し付けください。

## 安全にご使用していただくために

本器を安全に正しくご使用していただくため、下記の注意事項を必ずお守り下さい。

### 1. 電源端子などにご注意下さい

本器は、コンポーネントタイプです。計装パネルや装置に組み込んで使用者が電源端子などに直接触れられない処置を、必ず講じてご使用下さい。

### 2. 安全対策を別途設けてご使用下さい。

保安対策を取る必要が有る最終製品（装置）に本器を使用される場合は、電気伝導率電極の異常誤動作、故障などによる制御不調が生じた時の安全対策を、最終製品側に、別途施してからご使用下さい。

### 3. 電源スイッチ及びヒューズを別途用意して下さい。

本器には、ヒューズを装備しておりますが、安全の為、最終製品側にも電源スイッチ、ヒューズを設けて下さい。

### 4. 感電防止について

感電事故をふせぐ為に、計器本体のアースは、必ず大地接地して下さい。また濡れた手で運転操作したり、触れたりしないで下さい。

### 5. 電気関係の配線は有資格者が行なって下さい。

素人配線ですと感電や事故発生の恐れが有りますので、有資格者が行なって下さい。

### 6. 本取り扱い説明書の記載内容について

本器を安全にご使用していただく為に、本説明書に記述した「注意」事項や取り扱い方法を遵守して下さい。遵守しないで本器を使用した場合、感電や本器自身の損傷・機能低下、あるいは最終製品（装置）に損傷を与える恐れが有ります。

## 安全注意事項（警告）

- |                     |  |
|---------------------|--|
| <b>配線の端末処理</b>      | : 端子部の配線が脱落・線間の接触が無い様に絶縁スリーブ付圧着端子をご使用下さい。                                    |
| <b>電源・接地の確認</b>     | : 電源配線・接地配線が正しく確実に行われているか、本器の電源電圧が合っているか必ず確認した後に、本器の供給電源（分電盤又はコンセント）を入れて下さい。 |
| <b>ケース内部は接触禁止</b>   | : メンテナンスなどで内部を引き出した場合は、ケース内部に手などを入れないで下さい。                                   |
| <b>可燃性ガス中での使用禁止</b> | : 引火性ガス・蒸気の有る場所で本器を動作させないで下さい。   |
| <b>修理・点検</b>        | : 修理・点検する時は、当社又は、お買い上げの販売店にご依頼下さい。   |

## 目次

1.概要	1
2.特徴	1
3.仕様	1
4.各部の名称	2
4-1 フロントパネル	2
4-2 リアパネル	2
5.設置	2
5-1 計器の設置場所	2
5-2 計器外形寸法とパネルへの取付	2
(1) 外形寸法	3
(2) パネルカット寸法参照	3
(3) 取付寸法	3
5-3 電極及びホルダーの設置場所	3
6.配線	4
6-1 計器端子台の配線	4
(1) 電極入力端子の配線	4
(2) メイン伝送出力端子の配線	4
(3) 温度伝送出力端子の配線     オプション	4
(4) 電源端子の配線	4
(5) 大地アース(第3種アース)端子の配線	4
(6) アラーム出力端子の配線	4
(7) ホールド入力端子の配線	5
6-2 配線上の注意事項	5
7.運転	5
7-1 電源供給までの手順	5
7-2 本器のメニュー構成	5
7-3 メニューAの機能、設定手順	6
7-3-1 <b>警報(調節)設定するには</b>	7
(1) AL1の設定	7
(2) AL2の設定	7
(3) AL3の設定	7
(4) AL4の設定	7
(5) AL1~4設定値表示と温度表示	7
7-4 メニューBの機能、設定手順	7
7-4-1 警報(調節)設定を初期化する	8
7-4-2 警報(調節)接点動作 制御/停止	8
7-4-3 温度補償電極使用する / しない	8
7-4-4 温度指示のゼロ調整	9
7-4-5 ON-OFF制御/比例制御の切替	9

(1) ON - OFF 制御動作について	9
(2) 比例制御動作について	9
(a) 比例帯について	9
(b) 繰り返し時間について	10
7-4-6 AL2 の比例帯設定	10
7-4-7 AL3 の比例帯設定	11
7-4-8 繰り返し時間の設定	11
7-4-9 測定値の表示桁を減らす機能	11
7-4-10 メニュー 1 に移動	11
7-4-11 メニュー 2 に移動	11
7-4-12 メニュー 3 に移動	12
7-4-13 メニュー A の計測状態に戻る機能	12
7-5 メニュー 1 の機能、設定手順	12
7-5-1 AL1 ~ 4 HI / LOW 切替 (上限 / 下限)	13
(1) AL1 の切替	13
(2) AL2 の切替	13
(3) AL3 の切替	13
(4) AL4 の切替	13
7-5-2 AL1 ~ 4 ヒステリシス設定	14
(1) AL1 のヒステリシス設定	14
(2) AL2 のヒステリシス設定	14
(3) AL3 のヒステリシス設定	14
(4) AL4 のヒステリシス設定	14
7-5-3 メニュー A の計測状態に戻る機能	15
7-6 メニュー 2 の機能、設定手順	15
7-6-1 電気伝導率伝送出力スケールリング Min 側設定	15
7-6-2 電気伝導率伝送出力スケールリング Max 側設定	15
7-6-3 温度伝送出力スケールリング Min 側設定 ( ) オプション	15
7-6-4 温度伝送出力スケールリング Max 側設定 ( ) オプション	16
7-6-5 伝送出力 4 ~ 20mA / 0 ~ 10mV 切替	16
7-6-6 電極の温度補償する / しない	16
7-6-7 フィルター定数 (秒) の設定	17
7-6-8 メニュー A の計測状態に戻る機能	17
7-7 メニュー 3 の機能、設定手順	17
7-7-1 入力レンジ (スケール) (セル定数) の切替	18
7-7-2 被検液の温度係数設定	18
7-7-3 温度伝送出力基板 無 / 有	18
7-7-4 メニュー A の計測状態に戻る機能	18
7-8 その他の機能	18

7 - 8 - 1	
外部入力による指示値・伝送出力値ホールドと接点動作の停止機能	18
7 - 8 - 2	LEDサブ表示部の <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">Err</span> 表示を消すには
7 - 8 - 3	計測状態（初期画面）に戻したい時
7 - 8 - 4	伝送出力のホールドと接点動作の停止機能
8 .	点検
8 - 1	標準液による点検
8 - 2	温度補償抵抗の点検（自動温度補償内臓電極）
9 .	保守
9 - 1	保守点検表
9 - 2	電極の洗浄
10 .	故障対策
11 .	追補（追加改訂）
11 - 1	測定範囲のオーバーレンジ表示とエラーメッセージ
11 - 2	設定値保護機能（プロテクト）

## 1. 概要

本器は、マイクロプロセッサ内蔵し、高い信頼性と安定性を備えた工業用電気伝導率計です。  
検出部は、各種形状、セル定数をご用意しております。

## 2. 特徴

測定値と温度を同時表示

測定値と合わせて温度も表示、また伝送出力も同時出力可能。(オプション)

フリー電源

AC 85 ~ 265 Vの広範囲な電圧に対応。国内外を問わず使用出来ます。

豊富な制御出力機能

制御出力として、AL1・AL2・AL3・AL4接点出力を設け、各回路は上限、下限の選択が出来ます。またAL2及びAL3接点ではON/OFF、時分割比例による制御も行えます

薬注制御等の自己保持に便利なりレーのヒステリシス可変機能

調節・警報設定値のヒステリシスを、最大フルスケールまで設定変更できます。

伝送出力レンジの変更

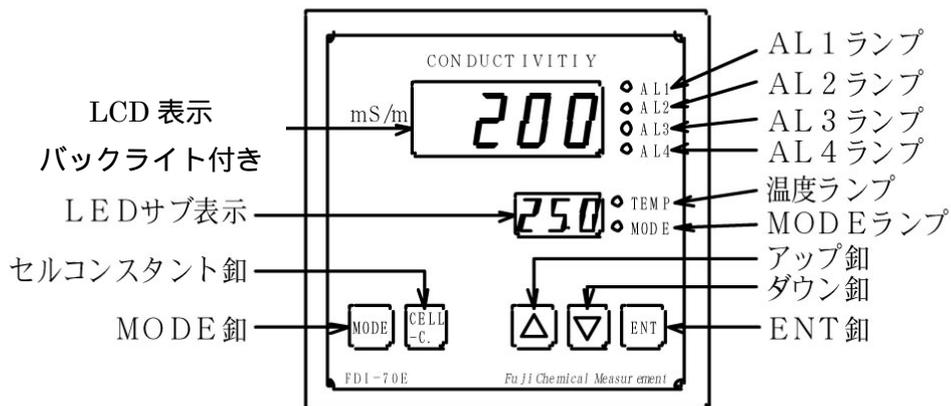
伝送出力DC 4 ~ 20 mAレンジを、キー操作で任意に設定出来ます。

## 3. 仕様

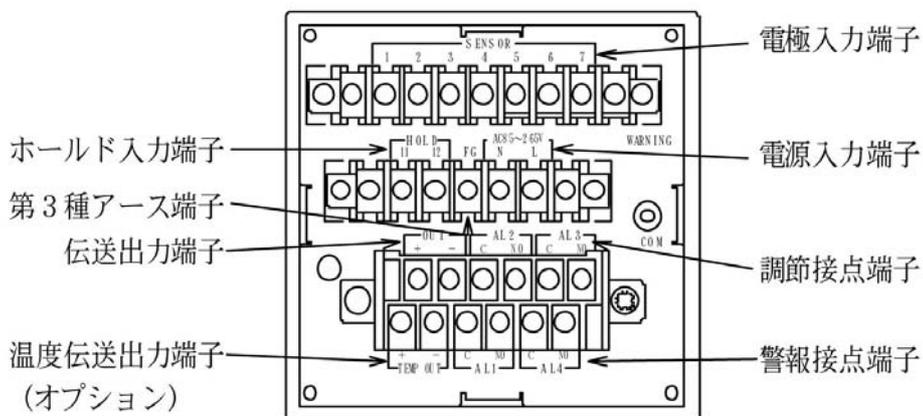
品名	電気伝導率指示調節計
型式	F D I - 7 0 E
測定範囲	0~5/0~10/0~199.9/0~500/0~1999mS/m(電極セル定数の選択による)
最小表示桁	0.01 (0.1) m S/m
温度補償範囲	0 ~ 100 自動
温度表示範囲	0 ~ 99.9
再現精度	FS ± 2%
温度値再現精度	2
校正方法	手動校正
メイン伝送出力	DC4 ~ 20 mA 絶縁型 負荷抵抗 500 以下
調節接点	AL2 , 3 ( 1 a )( 時分割比例/ON OFF 選択 )( 上下限切換可 )
比例帯	0 ~ 20% ( 可変 )
繰り返し時間	5 ~ 30 秒 ( 可変 )
ヒステリシス	ON OFF 選択時 F . S ( 可変 )
警報接点	AL1 , 4 ( 1 a )( 2 点警報出力 )( 上下限切換可 )
接点容量	AC100V 3A
ホールド機能	外部入力 ( 無電圧 a 接点 ) により指示値、伝送値ホールド 標準液 校正時 伝送値ホールド
温度伝送出力	DC4 ~ 20 mA 絶縁型 負荷抵抗 500 以下 ( オプション )
周囲温度	0 ~ 45
相対湿度	85%以下
消費電力	7VA 以下
電源	AC85 ~ 265V ( 50 ~ 60H z )
外形寸法	96W × 96H × 140D ( mm )
パネルカット寸法	96W × 92H ( mm )
質量	約 700g

## 4 . 各部の名称

### 4 - 1 フロントパネル



### 4 - 2 リアパネル



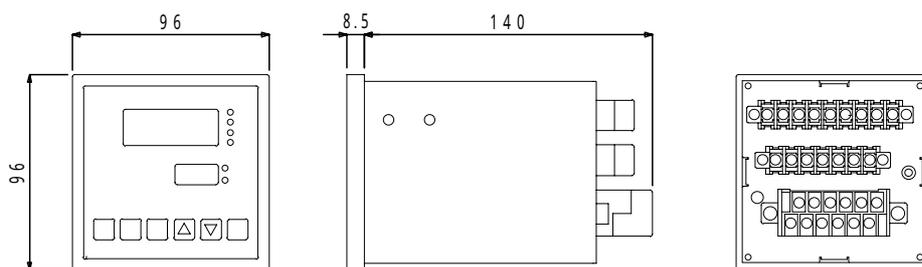
## 5 . 設置

### 5 - 1 計器の設置場所

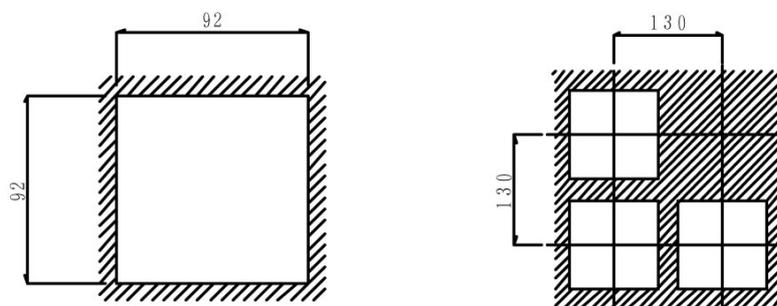
- (1) 温度変化の少ない場所 (周囲温度 0 ~ 45 )
- (2) 空気の清浄な場所 (ほこり、腐蝕性ガスの無い所)
- (3) 直射日光が当たらない場所
- (4) 乾燥した場所 (相対湿度 85%以下)

### 5 - 2 計器外形寸法とパネルへの取付

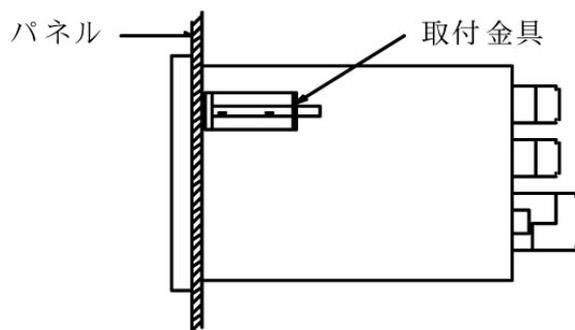
### (1) 外形寸法



### (2) パネルカット寸法



### (3) 取付寸法

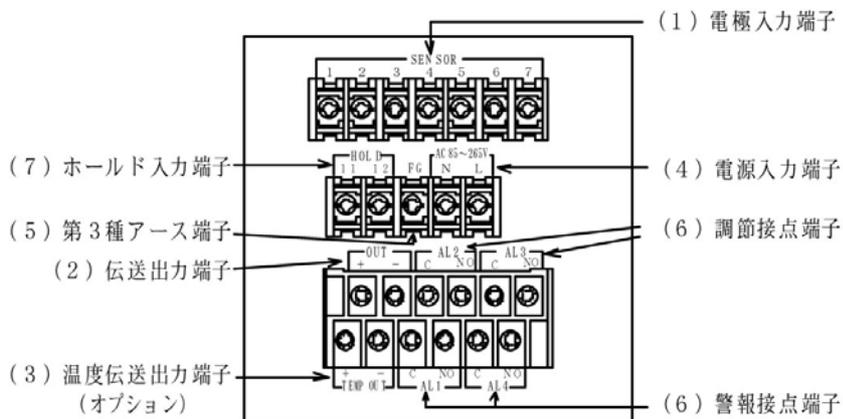


#### 5 - 3 電極及びホルダーの設置場所（ホルダー取扱説明書参照）

- (1) 振動の激しい場所や、電気機器に近い場所は避けて下さい。
- (2) 保守作業の行い易い場所に取付けて下さい。
- (3) ホルダーの手前には必ずフィルターの設置を行って下さい。
- (4) 流通型ホルダーは、パイプラインに接続しますが、必ずバイパスラインとストップ弁を取付けて電極を取出せる様にして下さい。

## 6. 配線

### 6-1 計器端子台の配線



#### (1) 電極入力端子の配線

##### SENSOR

- 1 電極ケーブル
- 2 電極ケーブル
- 3・4 温度補償電極ケーブル
- 5 シールドアースケーブル
- 6・7 は未使用

#### (2) メイン伝送出力端子の配線

OUT +・-      メイン表示に対する伝送出力です。記録計等の+・-に配線します。  
DC 4 ~ 20 mA 絶縁型 負荷抵抗 500 以下

#### (3) 温度伝送出力端子の配線 (オプション)

TEMP OUT +・-      温度表示に対する伝送出力です。記録計等の+・-に配線します。

DC 4 ~ 20 mA 絶縁型 負荷抵抗 500 以下

#### (4) 電源端子の配線

AC 85 ~ 265 V N・L フリー電源 AC 85 ~ 265 V (50 / 60 Hz)

#### (5) 大地アース (第3種アース) 端子の配線

FG      確実に大地接地して下さい。

電極入力端子の5番 (シールドアース) は内部回路の零電位であり、大地アース電位とは異なります!。動作不良となりますので、配線間違いの無い様お願い致します。

#### (6) アラーム出力端子の配線

AL1 C・NO      (下限警報接点)(1a)

上下限切替可能

AL2 C・NO      (下限調節接点)(1a)

時分割比例 / ON OFF 選択可能 上下限切替可能

AL3 C・NO (上限調節接点)(1a)

時分割比例 / ON OFF 選択可能 上下限切換可能

AL4 C・NO (上上限警報接点)(1a)

上下限切換可能

接点出力端子間にはリレーのメーク、ブレーク接点を動作させているだけで電源は供給されておりません。負荷を動かすには外部電源を本器の接点を通して供給します。

接点容量は抵抗負荷で AC100V 3A 誘導負荷だともう少し小さくなります。安全を期す為マグネットスイッチ等を介してポンプ・電磁弁等を駆動させる様心掛けて下さい。

#### (7) ホールド入力端子の配線

HOLD 11・12 外部入力(無電圧 a 接点)により指示値及び伝送値のホールド、リレー出力 OFF。警報等の監視を行っている場合には、中央への警報出力を切る事等を目的としています。

#### 6-2 配線上の注意事項

- (1) 電極ケーブルを延長する場合は、必ず専用ケーブルと専用コネクターボックスを使用して下さい。計器から電極までのケーブル長は 30m 迄です。
- (2) 専用ケーブルは途中でつぎたしての使用はできませんので、必ず一本物を使用して下さい。
- (3) 専用ケーブルの末端は濡らしたり、手あかや油で汚したりすると、指示不安定の原因となります。常に乾燥・清潔状態を保って下さい。
- (4) 電極線と動力線は必ず別々のコンジット配管で配線して下さい。誘導を受けて指示不安定の原因となります。
- (5) 計器本体の F G は確実に大地アースして下さい。

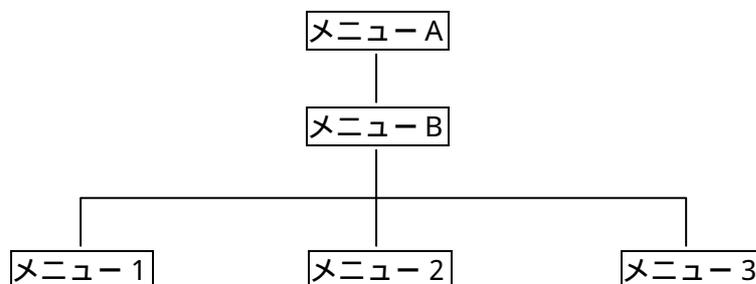
## 7. 運転

### 7-1 電源供給までの手順

- (1) 前項「5. 設置」「6. 配線」の作業が終了している事を確認する。
- (2) 供給電源が定格電圧で有る事を確認し、電源を供給する。

内部回路を安定させる為、30分程通電してから御使用下さい。

### 7-2 本器のメニュー構成



- (1) メニュー A の機能: **MODE 釦** を短く押す 各機能を選択。



(2) メニュー B の機能： メニュー A の計測状態（初期画面）から  
**MODE 釦** を長く押す（約 3 秒） メニュー B に移動 各機能  
 を選択。



(3) ~ メニュー 1 ~ 3 の機能： メニュー B のモードから **MODE 釦** を押し  
 任意のメニュー 1 ~ 3 を選ぶ 各機能を選択。

### 7-3 メニュー A の機能、設定手順

電源を供給し最初に表示された画面が 計測状態（初期画面）です。

重要：各操作をしている時に、60 秒以上操作をしない場合（いずれのスイッチも触らない時）は  
 計測状態（初期画面）に戻ります。 自動復帰

**MODE 釦** を押す度に  $\rightarrow$  **AL1** **AL2** **AL3** **AL4** **1-4** **計測状態（初期画面）** と

各メニューを繰り返し移動します。 表 1 参照

**1 注意** 各メニュー表の**初期設定値**は測定範囲を 199.9m S / m に設定した時の値です

表 1 メニュー A

初期設定値は工場出荷の際変更する事が有ります

メニュー A	機能	LCD 表示		LED 表示
		初期値 / 指示値 囲み線は初期設定値です	測定（選択）範囲	
	計測状態（初期画面）	電気伝導率測定値	0.00~FS	---(ブランク) 又は温度測定値
MODE 釦 1 回押す	AL 1 表示と設定	80.0	0.00~FS	AL 1
2 回押す	AL 2 表示と設定	90.0	0.00~FS	AL 2
3 回押す	AL 3 表示と設定	110.0	0.00~FS	AL 3
4 回押す	AL 4 表示と設定	120.0	0.00~FS	AL 4
5 回押す	AL 1 ~ 4 表示と温度値	電気伝導率測定値	0.00~FS	1-4

表 2 LED サブ表示部 文字一覧

文字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
表示	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
文字	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
表示	A	b	C	d	E	F	G	H	I	J
文字	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
表示	K	L	n	n	o	P	q	r	s	T
文字	U	V	W	X	Y	Z				
表示	U	v	w	X	Y	Z				

LED サブ表示部は 3 文字表示です。4 文字以上は単位が “ K(千) ” となります。例) **200** **0.2**

### 7-3-1 警報（調節）設定するには

#### (1) AL1の設定（下下限）

MODE 釦を1回押す  
LEDサブ表示部にAL1と表示されます  
LCD表示部に80.0と表示(点滅)されております  
アップダウン釦 $\square$   $\square$ を押し任意の値に設定します  
ENT 釦を押し決定

#### (2) AL2の設定（下限）

MODE 釦を2回押す  
LEDサブ表示部にAL2と表示されます  
LCD表示部に90.0と表示(点滅)されております  
アップダウン釦 $\square$   $\square$ を押し任意の値に設定します  
ENT 釦を押し決定

#### (3) AL3の設定（上限）

MODE 釦を3回押す  
LEDサブ表示部にAL3と表示されます  
LCD表示部に110.0と表示(点滅)されております  
アップダウン釦 $\square$   $\square$ を押し任意の値に設定します  
ENT 釦を押し決定

#### (4) AL4の設定（上上限）

MODE 釦を4回押す  
LEDサブ表示部にAL4と表示されます  
LCD表示部に120.0と表示(点滅)されております  
アップダウン釦 $\square$   $\square$ を押し任意の値に設定します  
ENT 釦を押し決定

#### (5) AL1～4設定値表示と温度表示

LEDサブ表示部に設定した警報設定値又は、温度測定値を1点表示させる事が出来ます。  
温度補償無し電極で設定されている場合の温度値表示は---(フラク)となります

MODE 釦を5回押しLEDサブ表示部に1 4と表示させます  
この時アップ釦 $\square$ を押すと、AL1 AL2 AL3 AL4 温度と数値が  
下から順番にLEDサブ表示部に表示され、それに合わせLEDランプが点灯します  
任意の表示に移動させた後、決定ならばENT 釦を押す。  
(ダウン釦 $\square$ を押すと、温度 AL4 AL3 AL2 AL1と移動)

### 7-4 メニューBの機能、設定手順

メニューAの計測状態(初期画面)からMODE 釦を長く押し(約3秒)メニューBに移動する。

MODE 釦を長く押す操作は、メニューBに移動時のみ行い、それ以外は長く押す  
必要は有りません

メニューBに移動 MODE 釦を押す度に各メニューを繰り返し移動します。 表3参照

表3 メニュー B

初期設定値は工場出荷の際変更する事が有ります

メニュー B	機能  [囲み線]は設定条件で無くなるメニューです	LCD表示		LED表示
		初期値 / 指示値 [囲み線]は初期設定値です	選択範囲	
MODE 釦 長押し 1 回	校正状態の初期化	no	no / YES	CLr
MODE 釦 1 回押す	警報 (調節) 接点動作 制御 / 停止	on	on / OFF	Con
2 回押す	温度補償電極使用する / しない	YES	no / YES	YEn
押す	[温度指示のゼロ調整]	入力温度値	- 10.0 ~ + 10.00	Adj
押す	ON - OFF 制御 / 比例制御の切替	on	on / Pro	PCo
押す	AL 2 比例帯設定	10.0	0.00 ~ FS	Pro
押す	AL 3 比例帯設定	10.0	0.00 ~ FS	Pro
押す	[繰り返し時間設定 (秒)]	15	5 ~ 30	YEC
押す	測定値の表示桁を減らす	nor	nor / Low	d.h
押す	メニュー 1 に移動	YES	YES / no	nE1
押す	メニュー 2 に移動	YES	YES / no	nE2
押す	メニュー 3 に移動	YES	YES / no	nE3
押す	メニュー A の計測状態に戻る	YES	YES / no	UP

7-4-1 校正状態の初期化

校正を行った後に校正状態をもとにもどしたい時 (理論値に) のみ行います。

計測状態 (初期画面) から [MODE 釦] を長く押し、メニュー B に移動

LEDサブ表示部に [CLr] と表示されます

LCD表示部に [no] と表示されております

アップダウン釦 [ ] [ ] を押し YES・NO いずれかを選択する

アップ釦 [ ] YES 初期化する

ダウン釦 [ ] no 初期化せず

[ENT 釦] を押し決定

7-4-2 警報 (調節) 接点動作 制御 / 停止

AL 1 ~ 4 の警報 (調節) 接点出力を 制御 / 停止 どちらかを選択する事が出来ます。

校正、点検時等、通常の制御を行いたく無い時に切替えていただくと便利です。

計測状態 (初期画面) から [MODE 釦] を長く押し、メニュー B に移動

[MODE 釦] を 1 回押すと、LEDサブ表示部に [Con] と表示されます

LCD表示部に [on] と表示されております

アップダウン釦 [ ] [ ] を押し ON・OFF いずれかを選択する

アップ釦 [ ] OFF 接点出力を停止する

ダウン釦 [ ] on 接点出力を制御する

[ENT 釦] を押し決定

7-4-3 温度補償電極使用する / しない

温度補償付電極と温度補償無電極の 2 種類が有ります。ご使用頂く電極に合わせ

どちらかを選択して下さい。

計測状態（初期画面）から **MODE** 釦を長く押し、メニュー B に移動  
**MODE** 釦を 2 回押すと、LED サブ表示部に **hEn** と表示されます  
LCD 表示部に **hE5** と表示されております  
アップダウン釦   を押し YES・NO いずれかを選択する  
アップ釦  **hE5** 温度補償付 電極を使用する  
ダウン釦  **hD** 温度補償無 電極を使用する **2**  
**ENT** 釦を押し決定

**2 注意** 温度補償無 電極を使用する を選択した場合、これ以降の温度に  
関係するメニューは全て無効になります。

#### 7-4-4 温度指示のゼロ調整

LED サブ表示部に表示された、温度指示値の誤差を補正します。  
温度素子は多少のばらつきが有りますので、必ず補正を行って下さい。  
基準となる温度計を用意し、被検液の温度を計り、指示値を合わせて下さい。

計測状態（初期画面）から **MODE** 釦を長く押し、メニュー B に移動  
**MODE** 釦を数回押して行くと、LED サブ表示部に **RdU** と表示されます  
LCD 表示部に **温度指示値** が表示されます  
アップダウン釦   を押し基準となる温度に合わせて下さい  
**ENT** 釦を押し決定

#### 7-4-5 ON - OFF 制御 / 比例制御の切替

警報（調節）出力の制御機能を選択する事が出来ます。

##### (1) ON - OFF 制御動作について

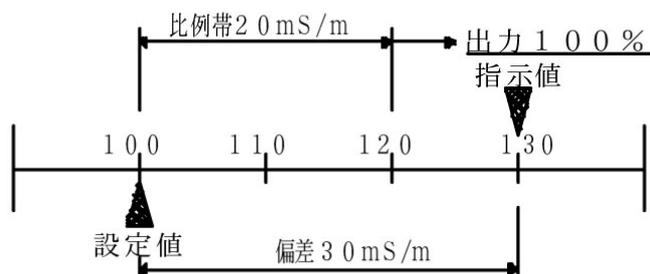
設定値を境にして 0% と 100% の 2 つの値で制御動作します。

##### (2) 比例制御動作について

設定値に対して比例帯をもち、偏差に比例した制御動作をします。

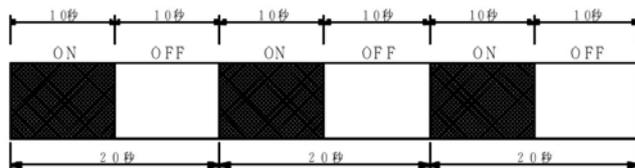
##### (a) 比例帯について 下図参照

上限設定値 100.0m S/m で指示値 130.0m S/m の場合（偏差 30m S/m）  
この時比例帯を 20.0m S/m に合わせると、指示値が 120.0m S/m に下がるまで  
100% 出力し比例帯に入れば制御出力量は偏差に比例して少なくなります。

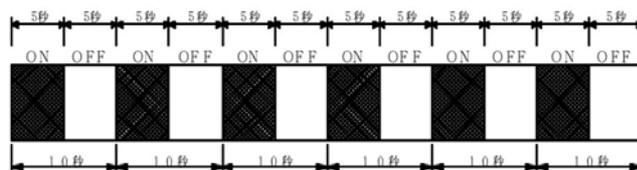


(b) 繰り返し時間について 下図参照

比例帯 20m S/m偏差 10m S/m , 繰り返し時間 20 秒の場合

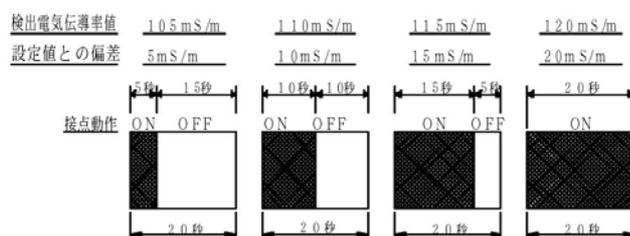


比例帯 20m S/m , 偏差 10m S/m , 繰り返し時間 10 秒の場合



上記の様に繰り返し時間を可変しても 60 秒の時間内では制御出力量は変わりません。  
流速やタンクの大きさ等により任意に設定して下さい。

(C) 上限設定値 100.0m S/m , 比例帯 20m S/m , 繰り返し時間 20 秒で設定した場合



上記の様に設定値に近づくに従って制御出力量が小さくなります。

設定方法

- 計測状態 (初期画面) から **MODE 釦** を長く押し、メニュー B に移動  
**MODE 釦** を数回押して行くと、LED サブ表示部に **Pr** と表示されます  
LCD 表示部に **on** と表示されております  
アップダウン釦   を押し PRO・ON いずれかを選択する  
アップ釦  **Pr** 比例制御 **3**  
ダウン釦  **on** ON - OFF 制御 **4**  
**ENT 釦** を押し決定

**3 注意** 比例制御を選択した場合、これ以降の AL 2 及び AL 3 ヒステリシス設定のメニューは無効になります。

**4 注意** ON - OFF 制御 を選択した場合、これ以降の比例帯及び繰り返し時間のメニューは無効になります。

#### 7-4-6 AL 2 の比例帯設定

計測状態 (初期画面) から **MODE 釦** を長く押し、メニュー B に移動

MODE 釦を数回押して行くと、LEDサブ表示部に **Pro** と表示されます  
LCD表示部に **比例帯可変値** が表示されます  
アップダウン釦   を押し任意の値に設定します  
ENT 釦を押し決定

#### 7-4-7 AL3の比例帯設定

計測状態(初期画面)から MODE 釦を長く押し、メニューBに移動  
MODE 釦を数回押して行くと、LEDサブ表示部に **Pro** と表示されます  
LCD表示部に **比例帯可変値** が表示されます  
アップダウン釦   を押し任意の値に設定します  
ENT 釦を押し決定

#### 7-4-8 繰り返し時間の設定 (AL2, AL3)

計測状態(初期画面)から MODE 釦を長く押し、メニューBに移動  
MODE 釦を数回押して行くと、LEDサブ表示部に **REC** と表示されます  
LCD表示部に **繰り返し時間可変値(秒)** が表示されます  
アップダウン釦   を押し任意の値に設定します  
ENT 釦を押し決定

#### 7-4-9 測定値の表示桁を減らす

LCDに表示された測定値の桁を一桁減らす事が出来ます。

例1) 50.0 50

計測状態(初期画面)から MODE 釦を長く押し、メニューBに移動  
MODE 釦を数回押して行くと、LEDサブ表示部に **Lo** と表示されます  
LCD表示部に **nor** と表示されております  
アップダウン釦   を押し NOR・LOWいずれかを選択する  
アップ釦  **Lo** 一桁減らす  
ダウン釦  **nor** 標準表示  
ENT 釦を押し決定

#### 7-4-10 メニュー1に移動

メニュー1のモードに移動する事が出来ます。

計測状態(初期画面)から MODE 釦を長く押し、メニューBに移動  
MODE 釦を数回押して行くと、LEDサブ表示部に **FE1** と表示されます  
LCD表示部に **YES** と表示されております  
アップダウン釦   を押し YES・NOいずれかを選択する  
アップ釦  **YES** メニュー1のモードへ  
ダウン釦  **no** 引き続きメニューBのモード  
ENT 釦を押し決定

#### 7-4-11 メニュー2に移動

メニュー2のモードに移動する事が出来ます。

計測状態(初期画面)から MODE 釦を長く押し、メニューBに移動  
MODE 釦を数回押して行くと、LEDサブ表示部に **FE2** と表示されます  
LCD表示部に **YES** と表示されております

アップダウン釦   を押し YES・NO いずれかを選択する

アップ釦   MENU2 メニュー 2 のモードへ

ダウン釦   引き続きメニュー B のモード

ENT 釦  を押し決定

#### 7-4-12 メニュー 3 に移動

メニュー 3 のモードに移動する事が出来ます。

計測状態 (初期画面) から MODE 釦  を長く押し、メニュー B に移動

MODE 釦  を数回押して行くと、LED サブ表示部に  と表示されます

LCD 表示部に  と表示されております

アップダウン釦   を押し YES・NO いずれかを選択する

アップ釦   MENU3 メニュー 3 のモードへ

ダウン釦   引き続きメニュー B のモード

ENT 釦  を押し決定

#### 7-4-13 メニュー A の計測状態に戻る

計測状態 (初期画面) に戻す事が出来ます。

計測状態 (初期画面) から MODE 釦  を長く押し、メニュー B に移動

MODE 釦  を数回押して行くと、LED サブ表示部に  と表示されます

LCD 表示部に  と表示されております

アップダウン釦   を押し YES・NO いずれかを選択する

アップ釦   MENU1 の計測状態 (初期画面) へ

ダウン釦   引き続きメニュー B のモード

ENT 釦  を押し決定

#### 7-5 メニュー 1 の機能、設定手順

メニュー B の "7-4-10 メニュー 1 に移動" の操作でメニュー 1 に移動

メニュー 1 に移動 MODE 釦  を押す度に各メニューを繰り返し移動します。 表 4 参照

表 4 メニュー 1

初期設定値は工場出荷の際変更する事が有ります

メニュー 1	機能  <input type="checkbox"/> は設定条件で無くなるメニューです	LCD 表示		LED 表示
		初期値 / 指示値 <input type="checkbox"/> は初期設定値です	選択範囲	
メニュー B から移動	AL1 HI / LOW 切替	<input type="checkbox"/>	Lo <sub>0</sub> / Hi <sub>1</sub>	H-L
MODE 釦 1 回押す	AL2 HI / LOW 切替	<input type="checkbox"/>	Lo <sub>0</sub> / Hi <sub>1</sub>	H-L
2 回押す	AL3 HI / LOW 切替	<input type="checkbox"/>	Lo <sub>0</sub> / Hi <sub>1</sub>	H-L
3 回押す	AL4 HI / LOW 切替	<input type="checkbox"/>	Lo <sub>0</sub> / Hi <sub>1</sub>	H-L
4 回押す	AL1 ヒステリシス設定	<input type="checkbox"/>	0.00 ~ FS	HY <sub>0</sub>
押す	<input type="checkbox"/> AL2 ヒステリシス設定	<input type="checkbox"/>	0.00 ~ FS	HY <sub>0</sub>
押す	<input type="checkbox"/> AL3 ヒステリシス設定	<input type="checkbox"/>	0.00 ~ FS	HY <sub>0</sub>
押す	AL4 ヒステリシス設定	<input type="checkbox"/>	0.00 ~ FS	HY <sub>0</sub>
押す	メニュー A の計測状態に戻る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/>	UP

## 7-5-1 AL1~4 HI/LOW切替 (上限/下限)

警報(調節)出力の各回路は上限、下限の切替が選択出来ます。

初期設定

- (1) AL1 下下限
- (2) AL2 下限
- (3) AL3 上限
- (4) AL4 上上限

### (1) AL1の切替

メニューBからメニュー1に移動する

LEDサブ表示部に **H-L** と表示されます(AL1ランプ点灯)

LCD表示部に **Lo** と表示されております

アップダウン釦   を押しLOW・HIいずれか選択する

アップ釦  **H** 上限設定

ダウン釦  **Lo** 下限設定

**ENT**釦を押し決定

### (2) AL2の切替

メニューBからメニュー1に移動する

**MODE**釦を1回押しすると、LEDサブ表示部に **H-L** と表示されます(AL2ランプ点灯)

LCD表示部に **Lo** と表示されております

アップダウン釦   を押しLOW・HIいずれか選択する

アップ釦  **H** 上限設定

ダウン釦  **Lo** 下限設定

**ENT**釦を押し決定

### (3) AL3の切替

メニューBからメニュー1に移動する

**MODE**釦を2回押しすると、LEDサブ表示部に **H-L** と表示されます(AL3ランプ点灯)

LCD表示部に **H** と表示されております

アップダウン釦   を押しLOW・HIいずれか選択する

アップ釦  **H** 上限設定

ダウン釦  **Lo** 下限設定

**ENT**釦を押し決定

### (4) AL4の切替

メニューBからメニュー1に移動する

**MODE**釦を3回押しすると、LEDサブ表示部に **H-L** と表示されます(AL4ランプ点灯)

LCD表示部に **H** と表示されております

アップダウン釦   を押しLOW・HIいずれか選択する

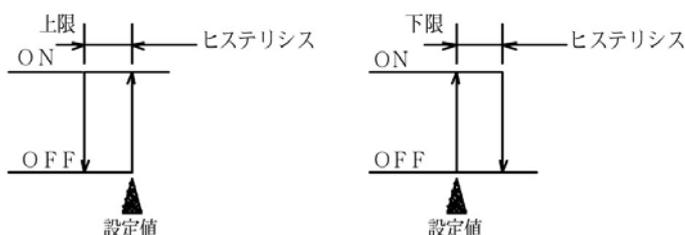
アップ釦  **H** 上限設定

ダウン釦  **Lo** 下限設定

**ENT**釦を押し決定

## 7-5-2 AL1～4 ヒステリシス設定

警報（調節）出力は下図の様に ON / OFF 時のヒステリシス（BAND）を設定出来ます。



### (1) AL1のヒステリシス設定

メニューBからメニュー1に移動する

**MODE** 釦を4回押すと、LEDサブ表示部に **HY1** と表示されます（AL1ランプ点灯）

LCD表示部に **ヒステリシス可変値** が表示されます

アップダウン釦   を押し任意の値に設定します

**ENT** 釦を押し決定

### (2) AL2のヒステリシス設定

メニューBからメニュー1に移動する

**MODE** 釦を数回押すと、LEDサブ表示部に **HY2** と表示されます（AL2ランプ点灯）

LCD表示部に **ヒステリシス可変値** が表示されます

アップダウン釦   を押し任意の値に設定します

**ENT** 釦を押し決定

### (3) AL3のヒステリシス設定

メニューBからメニュー1に移動する

**MODE** 釦を数回押すと、LEDサブ表示部に **HY3** と表示されます（AL3ランプ点灯）

LCD表示部に **ヒステリシス可変値** が表示され

アップダウン釦   を押し任意の値に設定します

**ENT** 釦を押し決定

### (4) AL4のヒステリシス設定

メニューBからメニュー1に移動する

**MODE** 釦を数回押すと、LEDサブ表示部に **HY4** と表示されます（AL4ランプ点灯）

LCD表示部に **ヒステリシス可変値** が表示されます

アップダウン釦   を押し任意の値に設定します

**ENT** 釦を押し決定

## 7-5-3 メニューAの計測状態に戻る

計測状態（初期画面）に戻す事が出来ます。

メニューBからメニュー1に移動する

**MODE** 釦を数回押すと、LEDサブ表示部に **UP** と表示されます

LCD表示部に **ME1** と表示されております

アップダウン鍵   を押し YES・NO いずれかを選択する

アップ鍵   メニュー 1 の計測状態 ( 初期画面 ) へ

ダウン鍵   引き続きメニュー 1 のモード

ENT 鍵 を押し決定

### 7-6 メニュー 2 の機能、設定手順

メニュー 1 の “7-4-11 メニュー 2 に移動” の操作でメニュー 2 に移動

メニュー 2 に移動  MODE 鍵 を押す度に各メニューを繰り返し移動します。 表 5 参照

表 5 メニュー 2

初期設定値は工場出荷の際変更する事が有ります

メニュー 2	機能  <input type="checkbox"/> 囲み線 は設定条件で無くなるメニューです	LCD 表示		LED 表示
		初期値 / 指示値 <input type="checkbox"/> 囲み線 は初期設定値です	選択範囲	
メニュー B から移動	電気伝導率伝送出力スケール Min 側設定	<input type="checkbox"/> 00	0.0 ~ FS	<input type="checkbox"/> n in
MODE 鍵 押す	電気伝導率伝送出力スケール Max 側設定	<input type="checkbox"/> 199.9	0.0 ~ FS	<input type="checkbox"/> n All
押す	<input type="checkbox"/> 温度伝送出力スケール Min 側設定 ( )	<input type="checkbox"/> 00	0.0 ~ 50.0	<input type="checkbox"/> n in
押す	<input type="checkbox"/> 温度伝送出力スケール Max 側設定 ( )	<input type="checkbox"/> 99.9	0.0 ~ 99.9	<input type="checkbox"/> n All
押す	伝送出力 4 ~ 20 mA / 0 ~ 10 mV 切替	<input type="checkbox"/> 420	420 ~ 0 10	<input type="checkbox"/> r EC
押す	<input type="checkbox"/> 電極の温度補償する / しない	<input type="checkbox"/> YES	YES / NO	<input type="checkbox"/> CAP
押す	フィルター定数設定 ( 秒 )	<input type="checkbox"/> 1	1 ~ 100	<input type="checkbox"/> F IL
押す	メニュー A の計測状態に戻る	<input type="checkbox"/> YES	YES / NO	<input type="checkbox"/> UP

#### 7-6-1 電気伝導率伝送出力スケール Min 側設定

伝送出力の範囲 ( ゼロ側 ) を変更する事が出来ます。

メニュー B からメニュー 2 に移動する

LED サブ表示部に  n in と表示されます。

LCD 表示部に  出力範囲可変値 が表示されます。

アップダウン鍵   を押し任意の値に設定します

ENT 鍵 を押し決定

#### 7-6-2 電気伝導率伝送出力スケール Max 側設定

伝送出力の範囲 ( スパン側 ) を変更する事が出来ます。

メニュー B からメニュー 2 に移動する

MODE 鍵 を 1 回押すと、LED サブ表示部に  n All と表示されます

LCD 表示部に  出力範囲可変値 が表示されます。

アップダウン鍵   を押し任意の値に設定します

ENT 鍵 を押し決定

#### 7-6-3 温度伝送出力スケール Min 側設定 ( ) オプション

温度伝送出力の範囲 ( ゼロ側 ) を変更する事が出来ます。

メニュー B からメニュー 2 に移動する

MODE 鍵 を数回押すと、LED サブ表示部に  n in と表示されます ( 温度ランプ点灯 )

L C D表示部に出力範囲可変値が表示されます。

アップダウン釦   を押し任意の値に設定します

**E N T**釦を押し決定

#### 7-6-4 温度伝送出力スケーリング Max側設定 ( ) オプション

温度伝送出力の範囲 (スパン側) を変更する事が出来ます。

メニューBからメニュー2に移動する

**MODE**釦を数回押すと、L E Dサブ表示部に **RAII** と表示されます (温度ランプ点灯)

L C D表示部に出力範囲可変値が表示されます

アップダウン釦   を押し任意の値に設定します

**E N T**釦を押し決定

#### 7-6-5 伝送出力 4 ~ 20 mA / 0 ~ 10 mV 切替

p H伝送出力を4 ~ 20 mA / 0 ~ 10 mVのどちらかを選択する。

但し標準仕様は4 ~ 20 mAとなっており、0 ~ 10 mVで御使用の場合は、設定後出力端子台にシャント抵抗を取付ける必要が有りますので御注意下さい。

(シャント抵抗の標準付属はしてありません)

メニューBからメニュー2に移動する

**MODE**釦を数回押すと、L E Dサブ表示部に **REC** と表示されます

L C D表示部に **420** と表示されております

アップダウン釦   を押し420・010いずれかを選択する

アップ釦  **010** 0 ~ 10 mV設定

ダウン釦  **420** 4 ~ 20 mA設定

**E N T**釦を押し決定

#### 7-6-6 電極の温度補償する / しない

測定中に別の槽 (被検液) の温度監視を温度センサーでする事が出来ます。温度センサー単独での温度測定となり、測定時の温度補償は補償不可となりますので切替えて御使用下さい。

**5 注意** サーミスタ以外の温度センサーは御使用出来ません。

**6 注意** メニューBの "7-4-3 温度補償電極使用する / しない" のメニューで "温度補償付電極を使用する" を選択する

メニューBからメニュー2に移動する

**MODE**釦を数回押すと、L E Dサブ表示部に **CNP** と表示されます

L C D表示部に **YES** と表示されております

アップダウン釦   を押しYES・NOいずれかを選択する

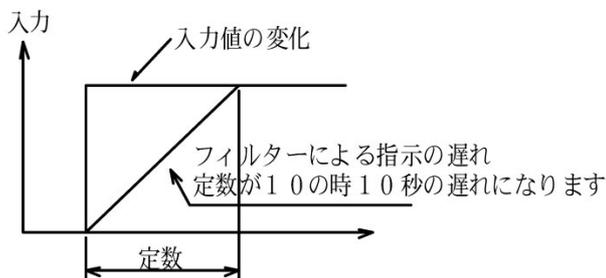
アップ釦  **no** 温度補償しないに設定 (温度測定する)

ダウン釦  **YES** 温度補償するに設定 (温度測定しない)

**E N T**釦を押し決定

### 7-6-7 フィルター定数（秒）の設定

入力のフィルター定数を設定出来ます。移動平均を使ったフィルター機能です。  
 入力値の著しい変化を緩和して指示値を安定させます。定数を大きくすると指示値の応答が遅れます。



メニューBからメニュー2に移動する

**MODE** 釦を数回押すと、LEDサブ表示部に **FIL** と表示されます

LCD表示部に **フィルター定数の可変値** が表示されます。

アップダウン釦   を押し任意の値に設定します

**ENT** 釦を押し決定

### 7-6-8 メニューAの計測状態に戻る

計測状態（初期画面）に戻す事が出来ます。

メニューBからメニュー2に移動する

**MODE** 釦を数回押すと、LEDサブ表示部に **UP** と表示されます

LCD表示部に **YES** と表示されております

アップダウン釦   を押しYES・NOいずれかを選択する

アップ釦  **YES** メニュー1の計測状態（初期画面）へ

ダウン釦  **NO** 引き続きメニュー2のモード

**ENT** 釦を押し決定

### 7-7 メニュー3の機能、設定手順

メニューBの“7-4-12メニュー3に移動”の操作でメニュー3に移動

メニュー3に移動 **MODE** 釦を押す度に各メニューを繰り返し移動します。 下図参照

表6 メニュー3

初期設定値は工場出荷の際変更する事が有ります

メニュー3	機能	LCD表示		LED表示
		初期値 / 指示値 <b>囲み線</b> は初期設定値です	選択範囲	
メニューBから移動	入力レンジ（スケール）（セル定数）切替	<b>FIL</b>	0.0 / 0.1 / 1-L / 1-H / 10	CEL
MODE 釦 1回押す	被検液温度係数設定	<b>2.00</b>	2.00~3.90	PEC
押す	温度伝送出力基板 無 / 有	<b>no</b>	no / YES	YEC
押す	メニューAの計測状態に戻る	<b>YES</b>	YES / no	UP

### 7-7-1 入力レンジ(スケール)(セル定数)切替

下記の測定範囲(5点)を選択する事が出来ます。

0.01 = 0.00 ~ 5.00m S / m      0.1 = 0.00 ~ 19.99m S / m      1-1 = 0.0 ~ 199.9m S / m

1-H = 0 ~ 500m S / m      10 = 0 ~ 1999m S / m

メニューBからメニュー3に移動する

LEDサブ表示部に EL と表示されます

LCD表示部に 1-1 と表示されております

アップダウン釦   を押し任意の測定範囲(5点)を選択する

アップ釦  0.01 0.1 1-1 1-H 10 と移動

ダウン釦  10 1-H 1-1 0.1 0.01 と移動

ENT釦を押し決定

### 7-7-2 被検液温度係数設定

被検液の温度係数を2% ~ 3.9%に変更出来ます

メニューBからメニュー3に移動する。

MODE釦を1回押すと、LEDサブ表示部に PEC と表示されます

LCD表示部に 2.00 と表示されております

アップダウン釦   を押し任意の値に設定します

ENT釦を押し決定

### 7-7-3 温度伝送出力基板 無/有

オプション設定されている温度伝送出力の有無で切替えます。仕様に合わせ工場出荷の際に設定済みですので通常は触れないメニューです。

メニューBからメニュー3に移動する

MODE釦を押すと、LEDサブ表示部に FEC と表示されます

LCD表示部に no と表示されております

アップダウン釦   を押しYES・NOいずれか選択する

アップ釦  YES 温度伝送出力付で設定

ダウン釦  no 温度伝送出力無で設定

ENT釦を押し決定

### 7-7-4 メニューAの計測状態に戻る

計測状態(初期画面)に戻す事が出来ます。

メニューBからメニュー3に移動する

MODE釦を押すと、LEDサブ表示部に UP と表示されます

LCD表示部に YES と表示されております

アップダウン釦   を押しYES・NOいずれか選択する

アップ釦  YES メニュー1の計測状態(初期画面)へ

ダウン釦  no 引き続きメニュー3のモード

ENT釦を押し決定

## 7-8 その他の機能

### 7-8-1 外部入力による指示値・伝送出力値ホールドと接点動作の停止機能

背面パネル部 ホールド入力端子「 HOLD 11・12 」

外部入力（無電圧 a 接点）により指示値及び伝送出力値を直前の値でホールドし  
警報（調節）接点の動作を停止する事が出来ます。

7-8-2 LEDサブ表示部の **Err**表示を消すには

**Err**エラーメッセージが表示した際は、電源を再度、立ち上げ直して下さい。

7-8-3 計測状態（初期画面）に戻りたい時

**MODE** 釦の操作で戻りますが、60秒以上何も操作しなければ（いずれのスイッチも触らない）  
最初の画面に自動的に復帰します。

7-8-4 伝送出力のホールドと接点動作の停止機能

伝送出力値を直前の値でホールドし、警報（調節）接点の動作を停止する事が出来ます。  
校正、点検時等に設定頂くと便利です。

設定方法

**ENT** 釦を長押し（3秒）

LEDサブ表示部に **Hld** と表示され、LEDランプ AL1～AL4 が点滅します。

解除方法

設定中に、もう一度 **ENT** 釦を長押し（3秒）

戻し忘れ防止機能：10分後に自動的に解除

## 8. 点検

### 8-1 標準液による点検

標準液に NaCl (塩化ナトリウム) 溶液を用いて、測定システム全体の点検を行うものです。  
なお、この方法は、NaCl 乾燥のための炉、天秤、純水などが必要です。  
精度に十分注意して調整して下さい。

点検手順

電極を測定液から引き上げて洗浄します。（電極が汚れていると、当然標準液との差が出るためです）

測定状態で電極を測定液から引き上げ、表示が「0」であることを確認して下さい。

次の表からフルスケール以下で、フルスケールに近い電気伝導率用の標準液濃度を選び、調整して下さい。

表7 NaCl 標準液の濃度と電気伝導率の関係

NaCl 標準液濃度 [N]	電気伝導率 [mS/m]
0.07	763.1
0.05	555.4
0.02	231.7
0.01	118.6
0.005	60.44
0.002	24.61
0.001	12.41
0.0005	6.25

[25] International Critical Table より

自動温度補償内臓型は、測定液温度が仕様の範囲であれば 25 換算で指示されます。

**7 注意** この標準液は、空気中の成分を吸収して電気伝導率が変わることがあります。特に希薄濃度の場合は著しいので、手早く点検測定をすることが必要です。

**8 注意** 前記の表以下の濃度の場合は、標準液調整が難しく、空気中からの成分吸収も激しいので、この方法は使用できません。

電極を調整した標準液に浸し、標準液に対応した電気伝導率を表示することを確認して下さい。誤差（フルスケール±2%以上）がある場合は次の要領で調整して下さい。

**CELL - C. 釦**を短く押す

L C D表示部に約5秒程 **0.00**と点滅し、L E Dサブ表示部に**セル定数**が表示され、測定値が表示されます。

アップダウン釦 **▲** **▼** を押し調整した標準液値に設定します。

**ENT 釦**を押し決定です。

点検が終了しましたら、電極を測定液に浸し、通常運転に入ります。

## 8 - 2 温度補償抵抗の点検（自動温度補償内臓電極）

温度補償抵抗は、被検液の電気伝導率が温度によって変化するので、自動的に補正するためのもので、電極部に組み込まれています。

### 点検手順

被検液の温度が約 25 であることを確認して下さい。

背面端子台の [ 3・4 ] の端子からリード線を外し、リード線側の [ 3・4 ] の間の抵抗値を、テスターなどで測定し、約 5 . 3 k であることを確認して下さい。

**9 注意** 温度補償抵抗にサーミスタを使用していますので、あまり電流を流さず、短期間で測定して下さい。

大幅に「誤差」がある場合は、断線または、液漏れによるショートが考えられますので当社へご連絡ください。

## 9 . 保守

### 9 - 1 保守点検表

電気伝導率は、電極の保守が特に大切です。次の表を参考に、その現場の実情に合った保守点検を行って下さい。

表 8

保守点検項目	頻度
0 ~ 0 . 5 m S / m 以下の純水 (電極の洗浄)	約 6 カ月に 1 度
蒸留水などの 1 m S / m 前後の液 (電極の洗浄)	約 6 カ月に 1 度
水道水などの 1 0 ~ 3 0 m S / m 程度の液 (電極の洗浄)	約 3 カ月に 1 度
ゴミ、金属片 (さび) などの混入している液 (電極の洗浄)	1 カ月に 1 度
温度補償抵抗 (サーミスタ) の点検	1 年に 1 度以上
等価入力による計器の点検	1 年に 1 度
標準液による点検 <b>10</b>	適時

**10 注意** 標準液調整の設備がある場合に行って下さい。

### 9 - 2 電極の洗浄

電気伝導率を測定するのは電極の表面ですから、この面が汚れていると正確な測定が行えません。

被検液に応じて、次の方法で定期的に洗浄を行って下さい。

#### 洗浄方法

表 9

測定液の状態	洗浄剤	洗浄方法
汚れが少ない場合	アルコール	ガーゼなどにエチルアルコールを染み込ませ、電極の汚れをふき取ります。
	中性洗剤	中性洗剤などで洗い、水道水で十分洗います。
汚れがひどい場合	クレンザー	クレンザーを布に付け、金属面を軽く磨き、水道水で洗います。
	硝酸（約3%）	電極を洗浄液に5～10分浸した後、水道水で十分洗います。

### 10 . 故障対策

表 10

現象	原因	処理
指示が全く振れない	電極が測定液に浸っていない	電極を測定液に浸す
指示が振り切れる場合	配線が確実に接続されていない	配線を確実に接続する
指示がふらつく場合	ノイズを発生する場所に設置してある	ノイズ防止対策を行う

以上の処理を行っても故障・ノイズ原因が不明な場合は当社か代理店にご連絡下さい。

## 11. 追補 (追加改訂)

### 11-1 測定範囲のオーバーレンジ表示とエラーメッセージ

#### 測定 of オーバーレンジ LCD 表示

LCD 表示	内容
oL	電気伝導率測定値が測定範囲の最大値を超えた場合 各レンジの最大値 19.99/199.9/1999mS/m

#### 温度測定 of オーバーレンジ LED サブ表示

LED サブ表示	内容
oL	温度測定値が 100 を超えた場合
-oL	温度測定値が 0 より小さい場合

#### エラーメッセージ

LED サブ表示	内容
Er1	電極温度補償の故障 断線又は接続不良
Er2	電極温度補償の故障 短絡

電極に異常がないにも拘らずエラー表示及びオーバーレンジ表示が消えない等の問題が発生した場合は次の操作を試みて下さい。

計器の電源を一旦 OFF にしてから再度 ON にしてみる。

メニュー-B の校正状態の初期化

### 11-2 設定値保護機能 (プロテクト)

**MODE** 釦の長押から入るメニュー-B 以降の設定値を保護するために操作を禁止する設定をすることができます。但し **MODE** 釦を短く押した時のメニュー-A の AL1 から AL4 の設定値と LED サブ表示の設定は操作可能です。

#### 設定保護方法

計測状態 (初期画面) でアップ釦 **▲** を長く押す (3 秒) と **LoC** と一瞬表示され保護が設定されます。保護状態では **MODE** 釦の長押をしても **LoC** と一瞬表示されるだけでメニュー-B には移行できません。

#### 設定保護解除方法

計測状態 (初期画面) でダウン釦 **▼** を長く押す (3 秒) と **UnL** と一瞬表示され保護が解除されます。